

感謝状贈呈式

令和2年10月7日(水)荒川区役所にて、前年度を以て退任されたスポーツ推進委員の方々へ、これまでの感謝を含め感謝状を贈呈いたしました。



左から清水孝一前委員、清水友美前委員、村田明人前委員▶



※撮影のため、マスクを外しています



清水 友美 前委員

10月7日、感謝状贈呈式に出席しまして西川太一郎区長より感謝状をいただきました。好きであるスポーツで区民の皆さんに少しお役に立った気がしました。キンボールスポーツ、ドッチビーのニュースポーツでは全員で実技に励み、大会開催にこぎつけました。宿泊研修では多くの仲間と練習に汗をかきました。16年間で122名のスポーツ推進委員の仲間と知り合いになれたことが私の宝です。地域文化スポーツ部の皆さんにも大変お世話になりました。皆さんありがとうございました。



清水 孝一 前委員

7期14年間大変お世話になりました。有難うございました。さまざまな事業、活動を通して小学生から大人まで多くの区民の方々と触れ合うことが出来、また推進委員の素晴らしい仲間、良き先輩がいて、いいこともいやなことも愚痴を聞いてくれる同期がいて、良き後輩がいたから続けてこられたと思います。今年度、新型コロナウイルス感染症拡大の影響で例年通りのイベントが中止や延期になり、いろいろ工夫しながらの一年の活動だったと思います。感染症が終息して、例年通りの事業・活動が出来るよう、心より祈っています。

活動日誌

令和2年

- 10月7日 感謝状贈呈式
【荒川区役所 304・305会議室】
- 11月10日 第3回総会
【荒川区役所 304・305会議室】
- 11月21日 第2回自主研修会
【あらかわ遊園運動場】
- 12月13日 第3回あらすポフェスタ
【荒川総合スポーツセンター】

※新型コロナウイルス感染症の影響で、中止になった事業があります



今後のお知らせや活動報告を
随時更新!
◀荒川区スポーツ推進委員
ホームページ

Sportsのひるば

発行 荒川区スポーツ振興課
編集 荒川区スポーツ推進委員会
荒川区荒川2-2-3
TEL.3802-3111(内線3374)
登録 (02)0028-02号

感染症に負けない年

荒川区スポーツ推進委員会 副会長 浅井 茂

2019年に発症が始まり世界中で大流行している新型コロナウイルス感染症の影響で、年初より日本中が感染警戒の状態になり、スポーツ推進委員会も事態の推移を見守りながら細心の注意を払い、毎年開催しているイベントが開けないかと模索を続けました。その矢先に、東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会の延期というニュースが飛び込んできました。2020年は日本だけでなく世界中がこのウイルスに翻弄されたのです。そして、スポーツだけでなくあらゆる行事が予定の変更を余儀なくされました。

先日、東京新聞の「筆洗」にこんな記事がありました。はやぶさ2のプロジェクトマネージャ津田雄一さんの言葉「大人は凄いことをやっている。とんでもないことに挑戦し、面白い未来を作っている。未来に希望はしっかりあり、大人になることは楽しいことだ。そう子供たちに感じてほしい」。

大変な年の最後に、確かな航跡を残してはやぶさ2(カプセル)が夢を運んでくれました。新型コロナウイルスの終息は予測できません。しかし、できないと思われることをできるようにするのが人の英知です。

12月には綺麗になった荒川総合スポーツセンターで、今期唯一主催のイベント(あらすポフェスタ)を参加者全員が感染防止を徹底して実施いたしました。このコロナ禍という経験を糧に、スポーツ推進委員会は今後も前進を続けます。



あらすポフェスタ

事業部 朽堀 喜信

令和2年12月13日(日)、荒川総合スポーツセンター大体育室にてスポーツ体験イベント「あらすポフェスタ」を開催しました。今回紹介したスポーツは、ビーチボール、ポッチャ、ミニテニス、カローリング、ヘルスパレーボール、ドッチビーの6種目。それぞれ10分から20分程度の時間でしたが、実際の用具に触れ、簡易な競技形式でプレイする体験内容としました。

参加された区民の皆さんにはこれらニュースポーツを体験し、名前だけでも覚えてもらい、楽しさが伝わり興味がわかれば健康づくりのために身体を動かすスポーツ選びの一つになればと思い、イベントの企画をしました。



体験風景



当日はマスクの着用や手指消毒、密にならないようグループを分けての体験など感染症拡大防止対策をとったうえで実施し、午前・午後の2部あわせて120名の参加者に集まることができました。大きな事故無く無事に終了することができ、参加者の感想も楽しかったという意見がほとんどでした。

これからも、安心安全で参加できるスポーツイベントを提供していくことが出来るように、引き続き検討して参ります。

第2回 自主研修会

広報部 林 敏子

令和2年11月21日(土)、あらかわ遊園運動場にて午前9時30分から午後4時まで第2回自主研修会が、強い砂嵐の中、参加者33名(欠席者6名)という今までにない出席率で行われました。

研修部員一人一人が各競技の担当を持ち、手際よく進めたことにより予定時間を余し終了できました。また、この自主研修会で他地区の新任メンバーとも交流ができました。

早く新型コロナウイルス感染症が終息し、来年度は新任メンバーとともにスポーツ推進委員全員で本来の活動ができることを望みます。

ウォーキング ----- 事業部 岡田 和吉

今回の研修内容は、足爪先の向き・膝の動き・足の裏の使い方及び腕の振り方等の研修内容が非常に充実しており、流石、研修部と思いました。

この研修会で受けた研修内容を、荒川区民に伝承・指導出来れば益々荒川区民も健康で華麗に齢を重ねていけると思います。



キックベース ----- 事業部 轟 久光



野外で行う初めての自主研修会でキックベースを行いました。私自身、キックベースは小学生の時にやって以来で懐かしく楽しめました。

このスポーツは、野球を知っている人はルールを覚えるのは簡単だと思いますが、ルールが打撃・守備・走塁の多岐にわたるので、初心者には分かりづらいかと思います。

グランドソフトボール ----- 研修部 山本 育子

自主研修会では、有志の皆さんがアイシェードをして、転がるボールを打つ、手を叩く、音を頼りに一塁へ走る、打ったボールをとる体験をしたことで、競技の難しさを知ることができました。この【やってみる】ことが、障がいを知る、障がいの真の理解に繋げる重要な第一歩であったと考えます。



モルック ----- 研修部 川越 景子



スウェーデン生まれのモルックは、的になるスキttlと的を倒すために投げるモルックが木製の素朴な形でできていて、屋外でプレイします。

それぞれに点数が書かれたスキttlをボーリングのピンのように地面に並べ、3~4m離れたラインからモルックを投げてスキttlを倒し得点を競います。

一見シンプルな様ですが、一発逆転あり、失格あり、技もありで、なかなか奥深いものがあります。老若男女、運動の得手不得手関係なく楽しめるゲームです。

スナッグゴルフ ----- 事業部 佐藤 弘樹

ゴルフと聞くと道具を揃え週末に行う趣味の一つとイメージをされるかと思いますが、今回体験したスナッグゴルフはそのイメージを払拭するものでした。クラブはプラスチック製で軽く種類も2本と少なく、ボールもテニスボールくらいの大きさで柔らかいものなので、小さな子供からお年寄りまで楽しめるスポーツだと思います。

